

令和6（2024）年度 第1回学校運営協議会 議事録

- 1, 日 時 令和6年6月26日（水） 14時00分～15時30分
- 2, 場 所 栃木県那須高等学校 会議室
- 3, 出席者 委員10名、栃木県教育委員会事務局5名、本校職員7名、
コーディネーター2名
- 4, 司 会 本校教頭
- 5, 次 第
 - 1) 開会
 - 2) 学校長挨拶
 - 3) 栃木県教育委員会挨拶
 - 4) 委員紹介・出席者紹介
 - 5) 会則の確認
 - 6) 会長及び副会長選任
鈴木直幸委員を会長、鬼澤努委員を副会長にとの提案があり、全員の承認を得た。
 - 7) 議事
 - (1) 学校運営に関する基本方針の説明・承認
 - (2) 学校概況報告
 - (3) 今年度の取組予定
 - (4) その他
 - 8) その他
 - 9) 閉会
- 6, 議事内容
 - (1) 学校運営に関する基本方針の説明・承認（資料p3、別紙参照）
〔校長〕
本年度より2学級特例校となり、小規模校の強みである機動力ある丁寧な指導を活かしていく。スクールミッションに掲げた「地域社会を支える人材」を育成するため、自己指導能力を高める指導を心掛けていきたい。
 - (2) 学校概況報告
 - ・進路指導部長による卒業生の進路先について
 - ・教務主任による出身中学や年間の学校行事について
 - ・主幹教諭による「総合的な探究の時間」の実施内容について
R5各種表彰及び検定試験合格状況について
 - (3) 今年度の取組予定
 - ・主幹教諭による「総合的な探究の時間」での本年度の取組について
「三菱みらい育成財団」応募状況について

- ・教務主任による本年度の年間行事予定について

(4) その他

〔委員からの質疑応答・感想〕

- ・クラス数の減少に伴う3名の教職員の減少による指導への影響はあるのか。
→予算・人事面はかなり厳しい。
少人数・小グループでの活動実施により教育の質を落とさない努力をしている。
- ・HPの更新が頻繁に行われており、中学生も閲覧している。1日体験学習の参加人数が増えたことにもつながっていると思う。
- ・那須町だけではなく、那須塩原市、大田原市を含む那須地域全体でフィールドワークを実施出来たらより愛着が深まると思う。
- ・那須高校の生徒とコラボレーションしたいという依頼が多数来ている。育伸会以外の商業施設からも声がかかる。那須まちづくり広場でのツリーハウス造りの計画がある。
- ・リゾート観光科があることが本校の強み。観光協会をスポンサーとして活動資金を集めるのはどうか。
- ・生徒の進学先の希望が就職だけではなく進学に向いてきている傾向が感じられる。
- ・googleの口コミが非常にいい。教職員の日ごろの指導の成果であると感じる。
- ・人物図鑑を継続して発行していることや今までの地道な活動が本校のより良いイメージに結びついてきたと感じる。
- ・人物図鑑を作成したことで地域への愛着が持てていると思う。今後はそれを発展として、みんなが集まって那須の未来について語り合い、自分たちに何ができるか考えていけるといい。観光だけでなく農業などにも目を向けられるといい。こんなことをしたいという意欲がわき、大学進学につながるという。
- ・小学校（黒田原）での掛け算九九ボランティアや出前授業（那須中、那須中央中）等の活動をしているが、中高連携を増やし生徒の実状を知るきっかけの場があるといい。
- ・人と人とのネットワークを大事にして、地域を巻き込みながら全国に那須の良さをアピールしていけるといい。
- ・町おこし協力隊とのボランティア活動の様子や中学校での出前授業での楽しい授業とリゾート観光科の発表を見ていい印象がある。出身中学の傾向を見ても、町内進学も引き続きみられる傾向がある。
- ・那須町の強みは『人』。交流することによって得られるものが多いと思う。
- ・那須町駅前の『だっばラジオ』に那須高校の生徒にもぜひ参加してもらいたい。
- ・全国的に子供の総数は減少傾向であるが、那須高校を無くせない理由となるような、那須高校ならではの活動の支援をしていきたい。